

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2010-207646(P2010-207646A)

【公開日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-150886(P2010-150886)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/117 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月2日(2011.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体を含み、前記媒体にホログラムが配置されたセンサーであって、
媒体の物性が変化することによってホログラムの光学特性が変化し、ホログラムは非平面ミラー状に形成され、また、ホログラムの再生波長は近赤外線領域にも広がっている
ことを特徴とするセンサー。

【請求項 2】

ホログラムは凹面ミラー状に形成される
ことを特徴とする請求項 1 に記載のセンサー。

【請求項 3】

ホログラムは凸面ミラー状に形成される
ことを特徴とする請求項 1 に記載のセンサー。

【請求項 4】

ホログラムはコーナーキューブプリズム状に形成される
ことを特徴とする請求項 1 に記載のセンサー。

【請求項 5】

媒体中に非平面ミラー状のホログラムを形成することを含む
ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のセンサーの作製方法。

【請求項 6】

非平面媒体中でホログラムを記録する
ことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

平面ミラーを使用してホログラムを記録する
ことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

非平面ミラーを使用してホログラムを記録する
ことを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の方法。

【請求項 9】

凹面ミラーを使用してホログラムを記録する
ことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

コーナークューブリズムを使用してホログラムを記録することを特徴とする請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

一種以上の反射ビーズを使用してホログラムを記録することを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項 12】

レンズ、開口部、スリット若しくは障害物又はこれらの組み合わせを光源と媒体の間に配置してホログラムを記録することを特徴とする請求項 5 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

検体を検出する方法であって、
請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のセンサーのホログラフィック素子に遠隔から光で応答指令信号を送ること、及び、センサーの光学特性の任意の変化を検出することを特徴とする方法。

【請求項 14】

光は平行化されている
ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。